

第4問

(1) 下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、設問ごとに最も適当と思われるものを選び、答案用紙の（ ）の中に記号で解答すること。

1. 買入部品 800 個を消費した。なお、月初の買入部品有高は 200 個（1 個当たり 1,425 円）、当月仕入高は 1,000 個（1 個当たり 1,461 円）であった。材料の実際消費価格は総平均法で計算している。

- | | | |
|--------|--------|----------|
| ア. 材料 | イ. 現金 | ウ. 材料副費 |
| エ. 仕掛品 | オ. 買掛金 | カ. 製造間接費 |

2. 当社では標準原価計算制度を採用し、勘定記入の方法はシングル・プランによっている。直接労務費の原価標準は、標準賃率 1,500 円／時間、製品 1 個当たりの標準直接作業時間は 3 時間として計算している。当月の生産実績は完成品 2,000 個のみであった。標準直接労務費を仕掛品勘定に振り替える。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| ア. 賃金・給料 | イ. 原価差異 | ウ. 現金 |
| エ. 仕掛品 | オ. 製品 | カ. 製造間接費 |

3. 当社では、実際個別原価計算を採用している。当月作業が行われたのは、製造指図書 # 100（当月製造費用 250,000 円）、# 200（当月製造費用 300,000 円）、および # 300（当月製造費用 280,000 円）であり、このうち、# 100 と # 200 が完成した。なお、# 100 は先月から着手しており、前月の製造費用 80,000 円が繰り越されている。完成品原価を製品勘定に振り替える。

- | | | |
|--------|----------|----------|
| ア. 材料 | イ. 賃金・給料 | ウ. 売上原価 |
| エ. 仕掛品 | オ. 製品 | カ. 製造間接費 |